

令和2年8月

魚津市臨時記者会見



日時：令和2年8月9日(日) 午後5時00分～午後5時20分

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、NICE-TV

市当局出席者：市長、副市長、教育長

1. 市長からの発表事項

魚津市における新型コロナウイルス感染者数が短期間に増加したため会見を開いた。今日の16時30分に新たな感染者2名が判明しているが、昨日の状況で整理して発表したい。

(1) 感染者の状況

- ・ 8月5日から8日までの4日間で10名の感染者が確認された。魚津市のような小さな市で短期間に2桁の感染が確認されたことはショックであり、大変な危機感を覚えている。文字通り「感染拡大危機」の状況について、市民の皆さんと危機意識を共有したい。
- ・ 8月7日に政府の新型コロナ感染症対策分科会において、自治体が対策を強化する際の判断材料となる指標をまとめた。これは都道府県を想定した指標だと思われ、小さな市町村にそのままあてはまるものではないが、仮に、その指標に照らしてみると、魚津市の状況は、次のようになる。

①病床の逼迫具合・・・県あるいは医療圏の話だが、現時点では大丈夫

②PCR陽性率・・・県全体では1.7%と全国的には低いほうだが、魚津市だけで見るとどうかかわからない。分母がわからない話なのでコメントできない。

③療養者数（入院患者数）・・・魚津市10人

人口10万人換算で24人となるのでステージ4に近い水準

人口10万人あたり15人以上＝ステージ3

25人以上＝ステージ4

④一週間あたりの新規感染者数・・・魚津市10人

人口10万人換算で24人となるのでステージ4に近い水準

人口10万人あたり15人以上＝ステージ3

25人以上＝ステージ4

⑤直近一週間と前週の新規感染者数の比較・・・魚津市直近10人

前週0人なので当然、前週を上回ることになりステージ3以上

直近一週間の新規感染者数>前週ならステージ3以上

⑥感染経路不明の割合・・・魚津市のケースについてわからない。
50%以上はステージ3以上

- ・感染された10名の方々の状況、県の発表情報をもとに整理した。
 - ① 8月5日に感染が確認された県事例255、257の患者さんと、カラオケを 伴う
同じ飲食店を利用されていた方々が計6人
 - ② ①とは別の事例256の方と、その濃厚接触者 計3人
 - ③ 8月7日に感染が確認された県事例272・・・この方は孤発
- ・まず、複数の方が飲食店でカラオケを利用されていたことが判明している。カラオケを伴う飲食店の利用については十分に注意をお願いしたい。
- ・さらに、高齢者の方が感染された場合、重症化しやすい傾向があるので、外出される場合は感染対策の徹底をお願いしたい。

(2) 対策

- ・市の対応
 - ① カラオケを伴う飲食店での、高齢者の方々の感染事例が多いことが今回の特徴。
なので、まずは皆さんに慎重な行動、感染防止対策の徹底を呼びかけたい。
 - ② 昨日（8日）、老人クラブ連合会や地域振興会を通じて、高齢者サロンなど高齢者の方々が公民館などに集合して行う行事・イベントについて自粛をお願いした。
 - ③ 飲食店組合、商工会議所など市内関係団体に対して、感染防止対策の強化徹底を通知した。
- ・事業者の支援対策
協力要請だけではなく、市内事業者の安全対策強化の取り組みを支援するため、緊急対策を実施する。連休明けから、速やかに行っていく。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策費助成金の拡充について

7月補正で議決された「市内事業所における新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の取組に対する補助」を拡充する。対象：飛沫感染防止アクリル板、透明ビニールカーテン、空気清浄機、非接触型体温計、消毒液などの購入費用

- ① 対象経費の3/4としていた助成率を4/5へ拡大（上限5万円）
- ② ①のうち県からの休業要請・営業時間短縮の協力要請対象施設については上限を5万円から25万円へ拡大

(3) 市民の皆さまへのメッセージ

- ・ 普段の生活での感染対策を徹底しよう。「感染しない、感染させない、たとえ感染しても拡大させない行動」の徹底
 - ① 3密（密閉・密集・密接）を避けること、マスクの着用、手洗いの励行、物品の消毒、大声で話しながら食事はしないなど「新しい生活様式」に努めていただきたい。特に飲食前の手洗いの励行が大切であると魚津市の感染症専門医師からのアドバイスをいただいております、特に留意をお願いしたい。
 - ② 体調に不安がある時は、けっして我慢しないこと。すぐに医療機関等に相談すること。心配なら市役所に相談してほしい。秘密はしっかり守ります。
 - ③ スマートフォンをお持ちの方は、国の「接触確認アプリ（COCOA）」のインストールをお願いしたい。
- ・ 感染者を責めない、感染者をあたたかく見守るまち「うおづ」を目指そう
感染された方々に関する噂話などは避けていただきたい。市民の皆さんは、感染者を誹謗したり、中傷したりするつもりで話をされる人などいないと信じている。不安な気持ちから、軽い情報交換のつもりで知り合いの方々と話をされるのだと思う。感染された方を静かに見守り、回復した人に暖かく接するまちであってほしいと願っている。
- ・ オールうおづで感染拡大防止に取り組んでいこう
新型コロナ対策については、市として全力で取り組んでおり、これからも必要な対策は迅速に躊躇なく実施していく。しかし感染拡大を防止するには、最後は一人ひとりの責任ある行動に期待するしかない。すべての市民の皆さまにお願いしたい。

2. 質疑応答の内容

「独自の注意報」について

《記者からの質問》

独自の注意報を発令している市もあるが、魚津市は発令しないのか。

《回答》（市長）

注意報以上の危機感を持って、より具体的な危機意識を市民と共有したいと思っている。

「事業所への細かい指導」について

《記者からの質問》

他県の一部の自治体で行われている「一見さんお断り」や「マイクの本数を増やすように」などの突っ込んだ細かい指導を考えているか。

《回答》（市長）

一番心配しているのはクラスターの発生。今回は、カラオケのある飲食店がリスクの高い場所であったと特定できたが、今後も新たにリスクの高い業種・場所が判明した場合、必要なことを強く発信していく。なお、魚津市には調査権が無いので、県の情報を分析して注意喚起をするしかないのが現状。しかし待つだけではだめなので、市内事業所の感染症防止対策に対する補助の拡充を進める。これはカラオケのある飲食店に限らず接客サービスのある事業所に広く対策して行く。

「感染対策とのバランス」について

《記者からの質問》

魚津にとって飲食店はアピールポイントであるが、それぞれの感染対策とのバランスをどう考えているか。

《回答》（市長）

魚津にとって飲食店は魅力のひとつなので、店だけでなく利用客も万全の感染防止対策をしてほしい。市は事業者の安全対策への頑張り全力で応援し続けたい。今はこのような方針だと市民の皆さんに呼び掛けたい。